市販の NOD32 のインストールとセットアップ手順

この手順は、お客様が購入された市販の「ESET NOD32 Antivirus」の V13.1 用の手順です。

重要
- NOD32 以外のアンチウイルスソフトがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから NOD32 をインストールしてください。アンインストール手順は、各アンチウイルスソフトのマニュアルを参照してください。
- サーバーなど、ネットワークを自社で構築しているお客様に対しては、必ずお客様のネットワーク管理者と相談の上、インストールを実施してください。
- パソコンや OS の種類、バージョンによって、画面表示が若干異なる場合がありますが、設定内容、設定方法は同じです。

1. インストール手順

購入した NOD32 に添付されているインストール手順に従ってインストールを行ってください。

2. HDD のウイルスチェック

重要
現在使用している機器にウイルスが潜んでいないか、HDD のウイルスチェックを行ってください。
ウイルスチェックは、トップ画面の左側のメニュー「コンピュータの検査」から行うことができます。

NOD32 をインストールした後、HDD のウイルスチェックをせずに、手順 3 のセットアップ手順を実行した場合、機器に潜んでいるウイルスを削除できなくなります。

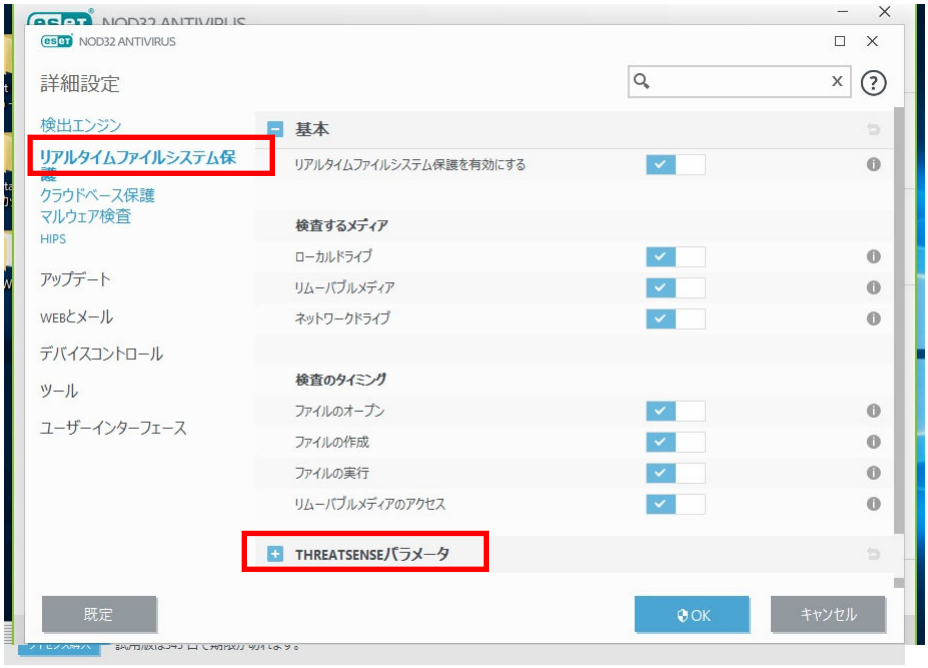
3.セットアップ手順

1) Windows 画面右下にある「ESET NOD32 antivirus」のアイコンをダブルクリックします。
アイコンが隠れている場合は▲のアイコンをクリックすると表示されます。

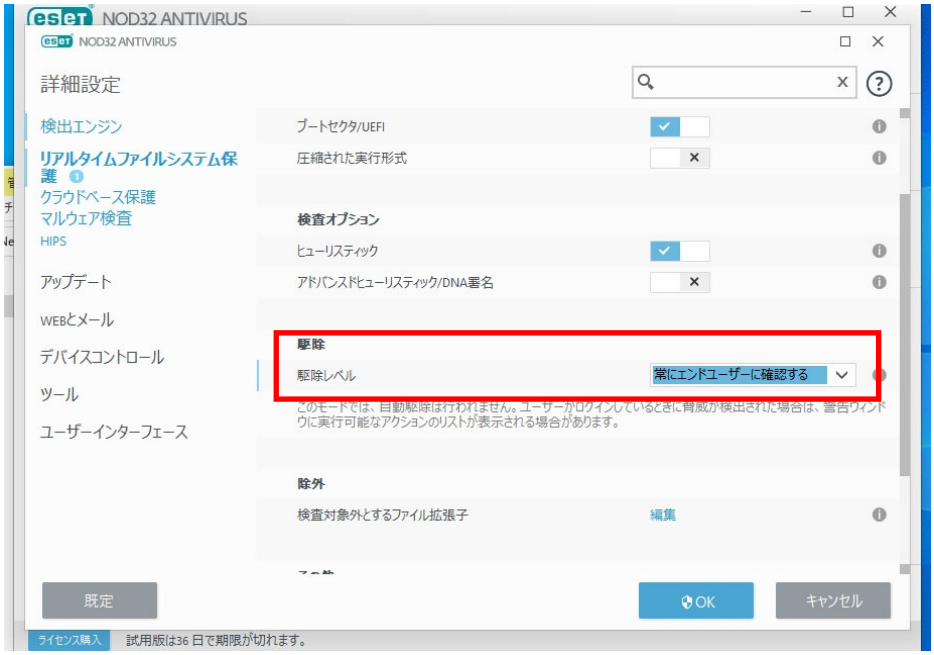
「ESET NOD32 antivirus」の画面が表示されます。

2) 「設定」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

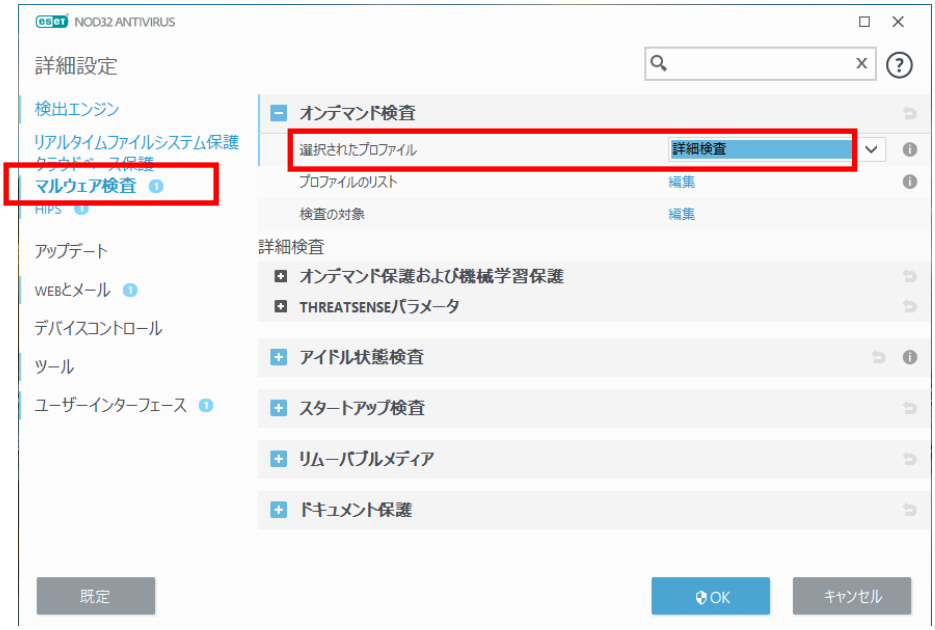
3) 「リアルタイムファイルシステム保護」を選択し、「THREATSENSE パラメータ」をクリックします。



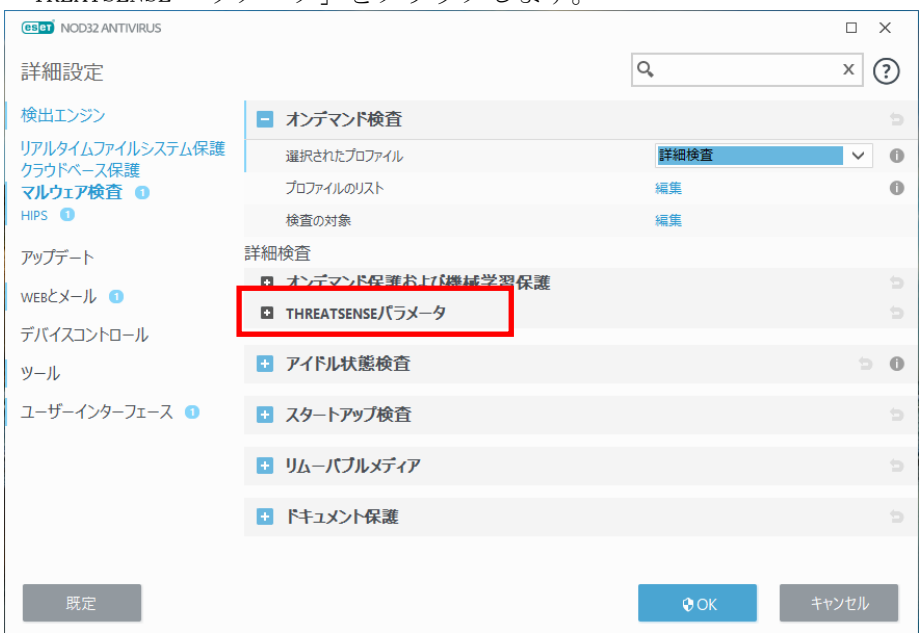
4) 「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。



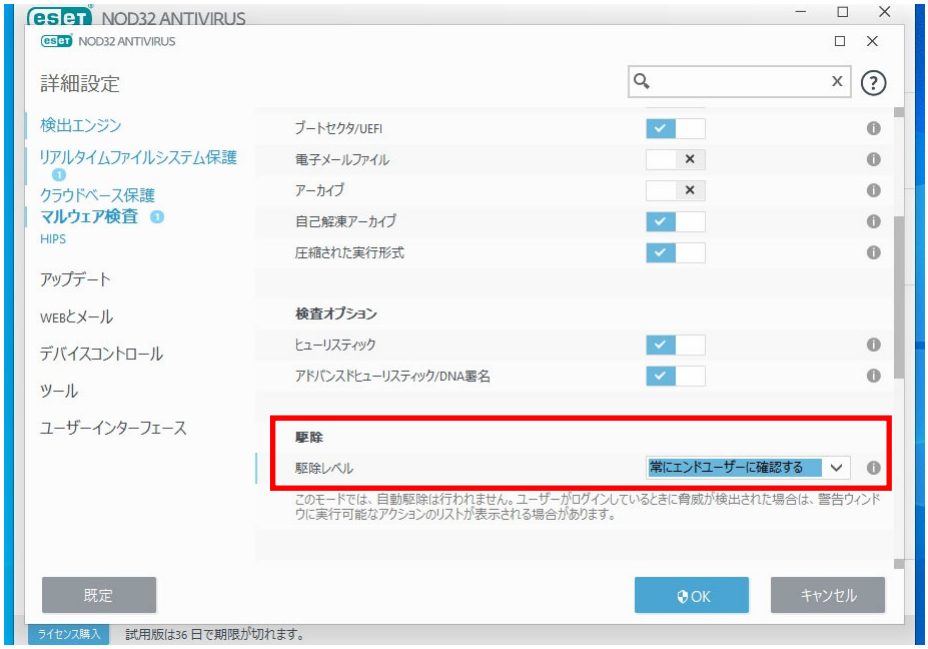
5) 「マルウェア検査」を選択し、「オンデマンド検査」の「選択されたプロファイル」で「詳細検査」を選択します。



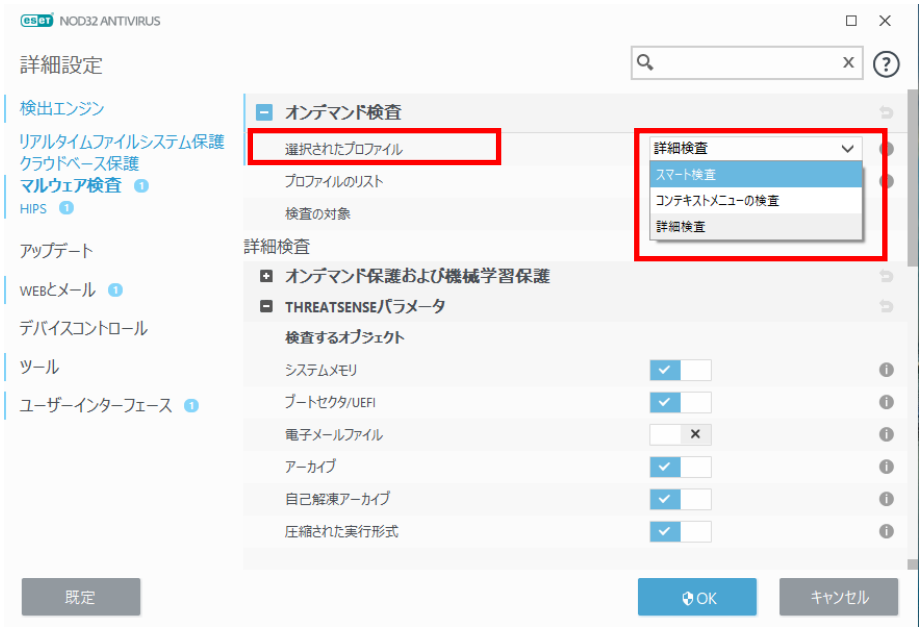
6) 「TREATSENSE パラメータ」をクリックします。



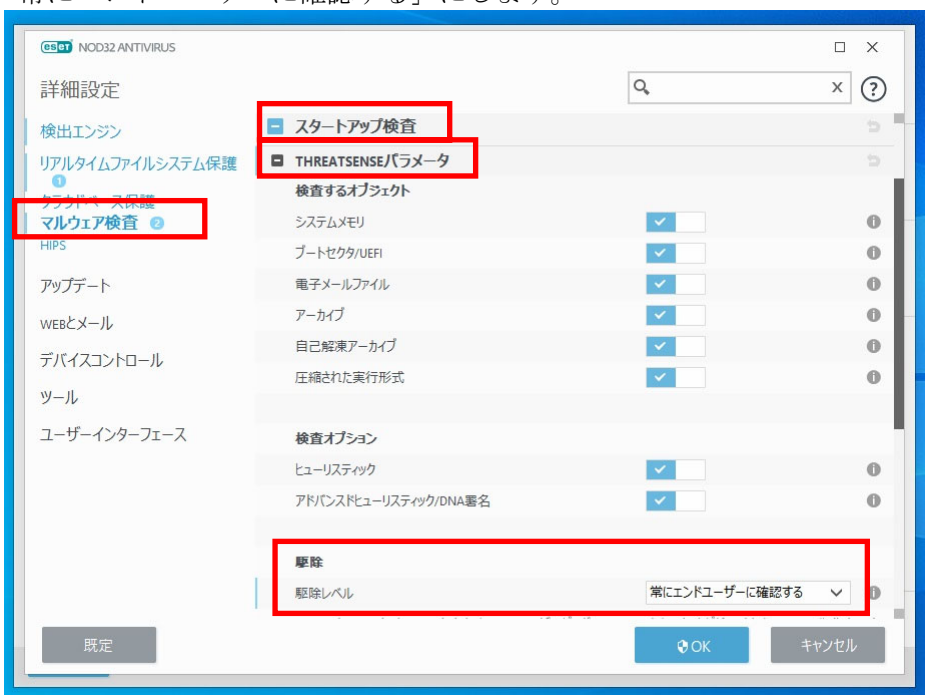
7) 「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。



8) 「選択されたプロファイル」の残りの設定である「スマート検査」「コンテキストメニュー検査」に対し、手順 6)、7) と同じ設定を行います。

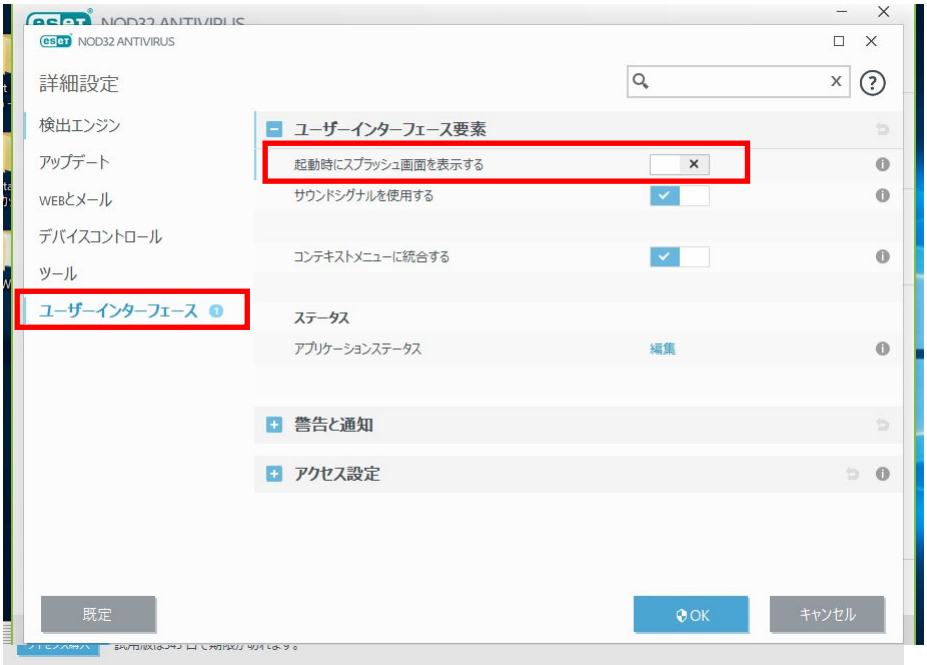


9) 「マルウェア検査」の「スタートアップ検査」を選択し、「THEATSENSE パラメータ」の「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。

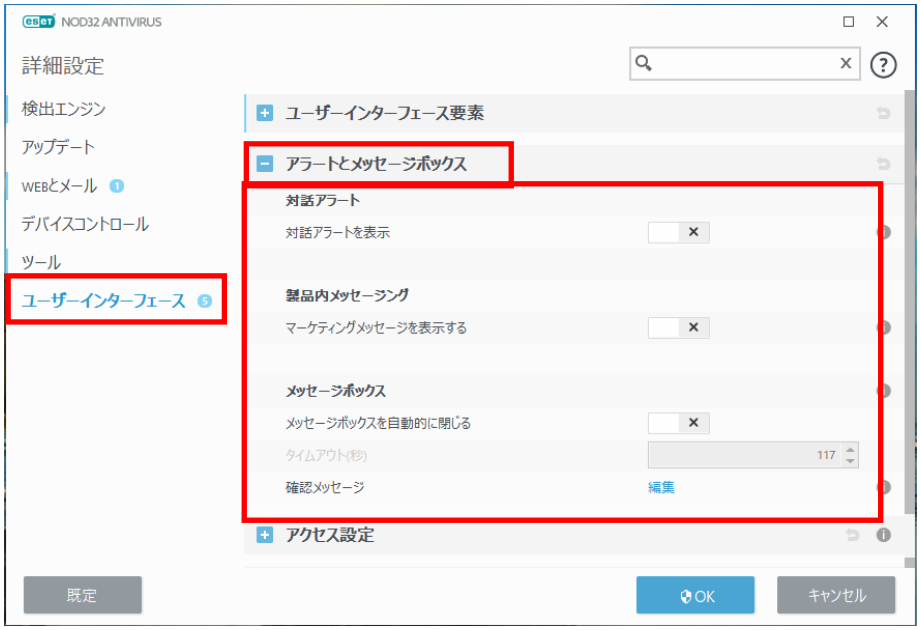


10) 「マルウェア検査」の「リムーバブルメディア」を選択し、「リムーバブルメディアの挿入後に行うアクション」を「自動デバイス検査」に設定します。

11) 「ユーザーインタフェース」を選択し、「起動時にスプラッシュ画面を表示する」を無効にします。

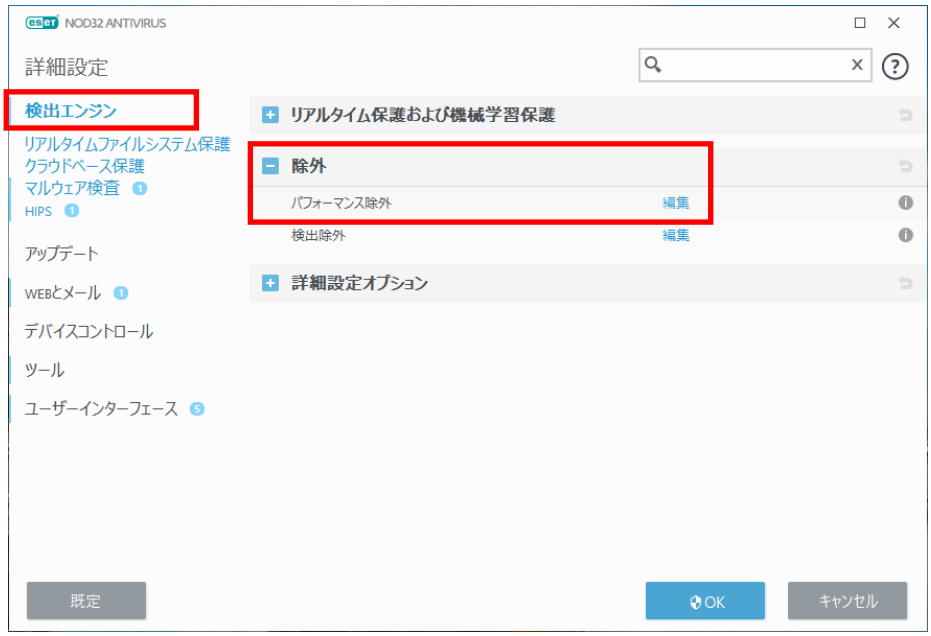


12) 「ユーザーインタフェース」を選択し、「アラートとメッセージボックス」内のすべての項目を無効にします。

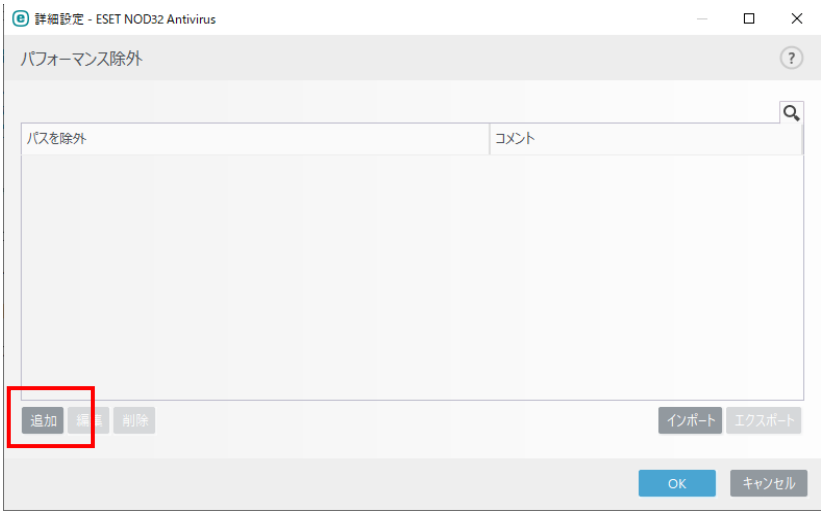


13) 本製品に関連するフォルダを除外します。
除外設定を行なわない場合、機器の処理速度が低下する場合があります。
「C:¥Program Files (x86)¥Noritsukoki」というフォルダを例に説明します。

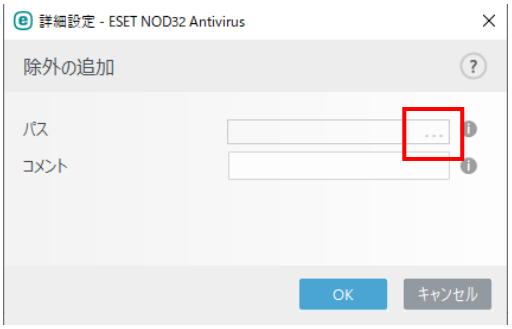
(1) 「検出エンジン」を選択し、「除外」「パフォーマンス除外」の「編集」をクリックします。



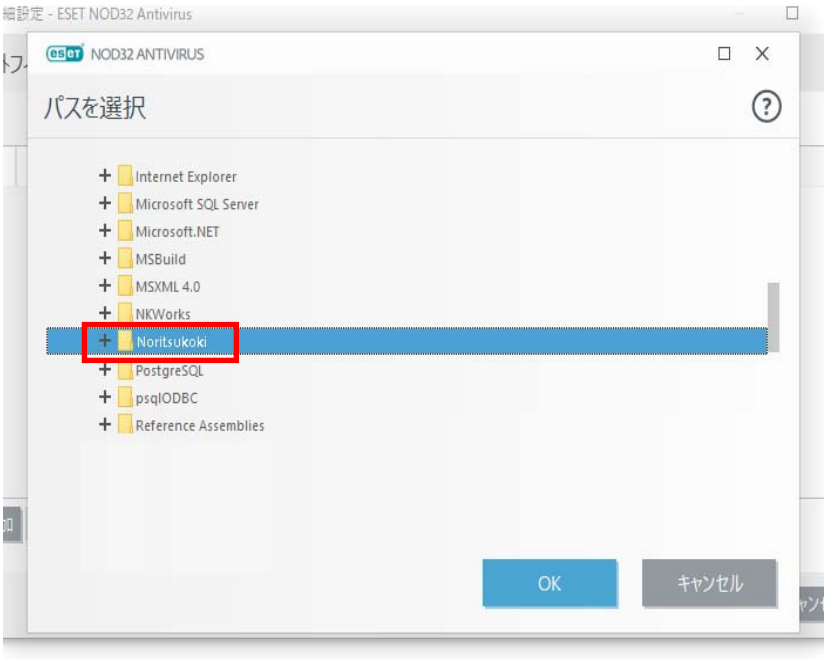
(2) 「追加」をクリックします。



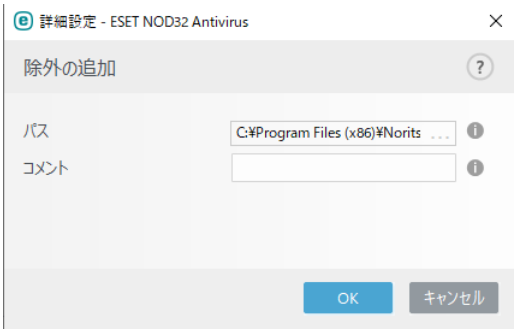
(3) 「...」をクリックします。



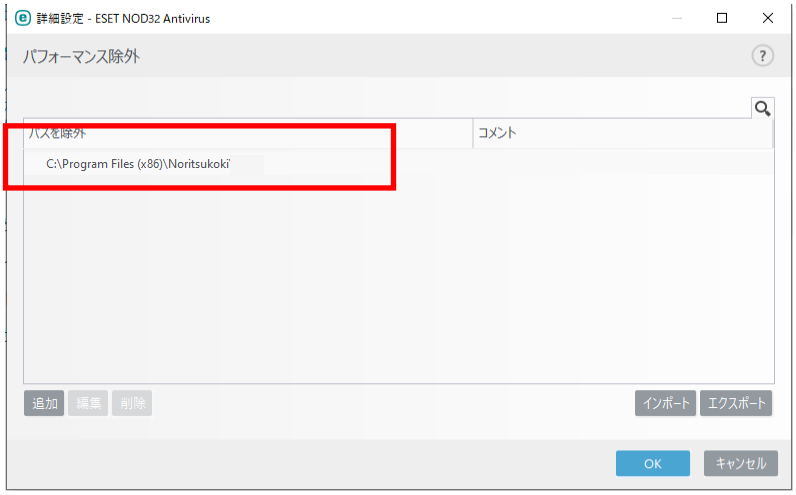
(4) フォルダ選択画面で、その該当のフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
（例）C:¥Program Files (x86)¥Noritsukoki



(5) 「OK」をクリックします。



(6) 「除外フィルタ」に追加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



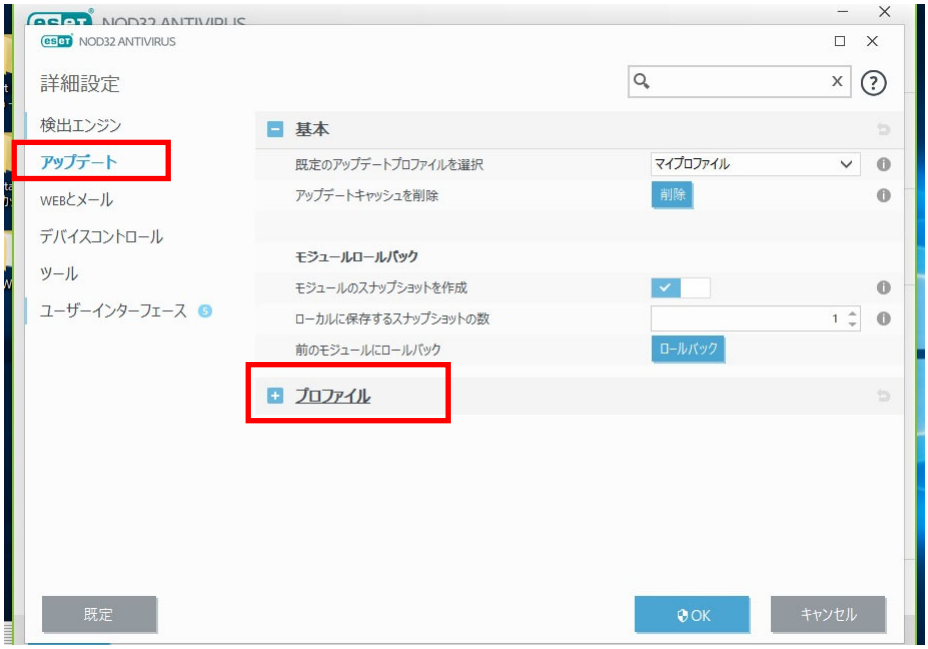
(7) 同様の手順で、下記フォルダを除外フォルダに設定します。

重要

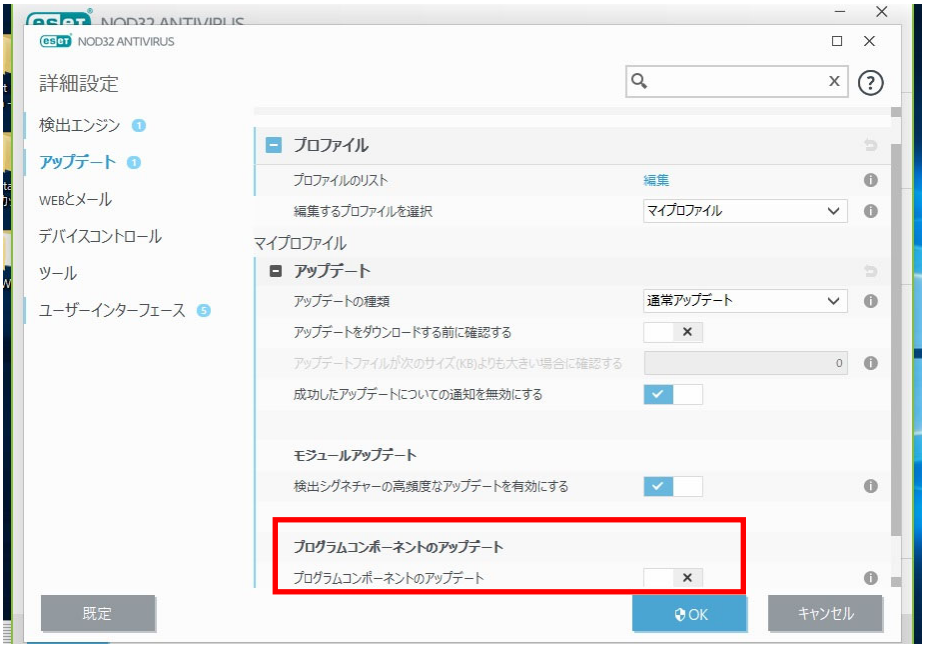
- 下記フォルダは、各アプリケーション共通です。アプリケーションによっては、存在しないフォルダもありますので、C あるいは D ドライブを確認し、下記フォルダが存在すれば除外フォルダに設定してください。
- 使用している PC の HDD 構成によりドライブが異なる場合があります。

除外するフォルダ
C:¥APM_TRANSFER
C:¥Capture
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Noritsukoki
C:¥InstallLogTmp
C:¥Noritsukoki
C:¥Program Files¥Noritsukoki
C:¥ProgramData¥Noritsukoki
C:¥Syscap
D:¥Noritsukoki
C:¥Program Files (x86)¥Noritsukoki
C:¥Program Files¥PostgreSQL
C:¥Program Files (x86)¥PostgreSQL
C:¥QSS
C:¥Smart Picture System
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server

14) 「アップデート」を選択し、「プロファイル」をクリックします。



15) 「アップデート」の「プログラムコンポーネントのアップデート」を無効にし、「OK」をクリックします。



16) 「ツール」を選択し、「スケジューラ」をクリックします。

17) 「アップデート：ユーザーログオン後に自動アップデート」のみを有効にします。

18) 以上で設定は終了です。画面右上の「×」をクリックし、NOD32 の画面を閉じます。